



教育 GP ニュース 第 18 号

1) 平成23年度 第1回教育GP「ものづくりの現場を聴く」講演会(土井准教授)

4月14日(木)15:00~16:00に本校図書館視聴覚大ホールにおいて、株式会社エイト 代表取締役 柴田政明様から「持続発展型社会システム`科学と自然との融合`」という演題で講演会を開催しました。この講演は、平成23年度の総合工学実験実習Ⅳ(卒業製作)のテーマが、昨年度テーマを継承し「持続可能な社会システムを指向したものづくり」であることから、企画しました。「持続可能な開発(あるいは発展):Sustainable Development」とは、現代の世代が、将来の世代の利益や要求を充足する能力を損なわない範囲内で環境を利用し、要求を満たしていこうとする理念です。このイメージを5年生や教職員にももってもらうため、環境問題・新エネルギー問題に関して実績もあり、アーティストとも人的なネットワークもある柴田社長に昨年度に引き続き、講師をお願いしました。講演では、電気の確保が難しい海外での風車や太陽電池パネル設置の例や自然エネルギーを活用した都市の例を多くの写真やスライドを使って見せていただきました。また、一昨年度および昨年度の卒業製作にコメント者として参加した感想等についてもお話し頂きました。なお、アンケート結果等は、次項に掲載します



図 講演後の質疑応答の様子

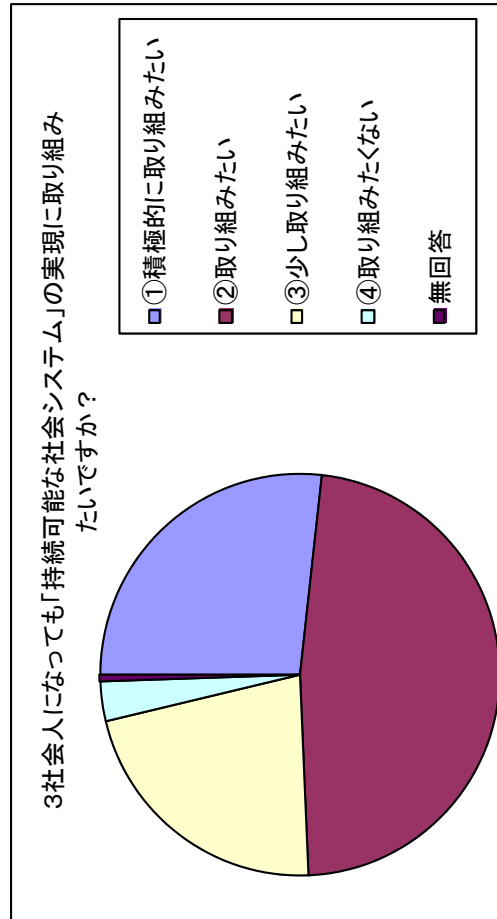
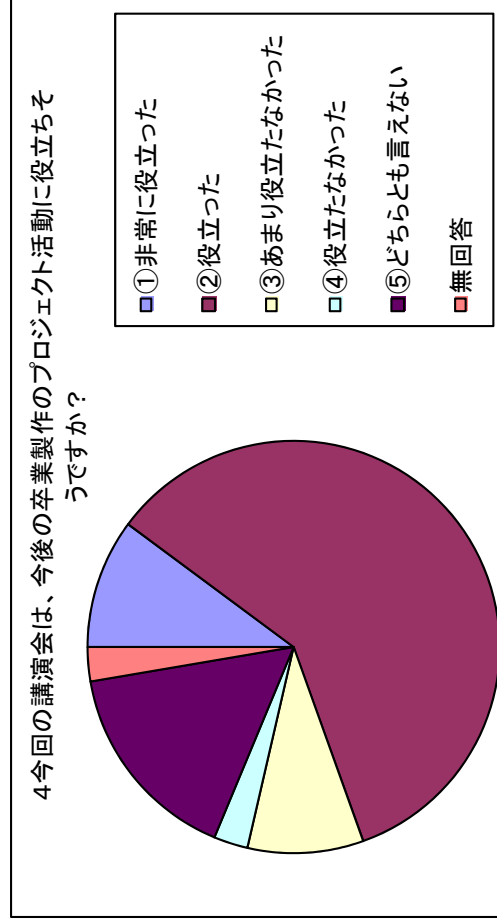
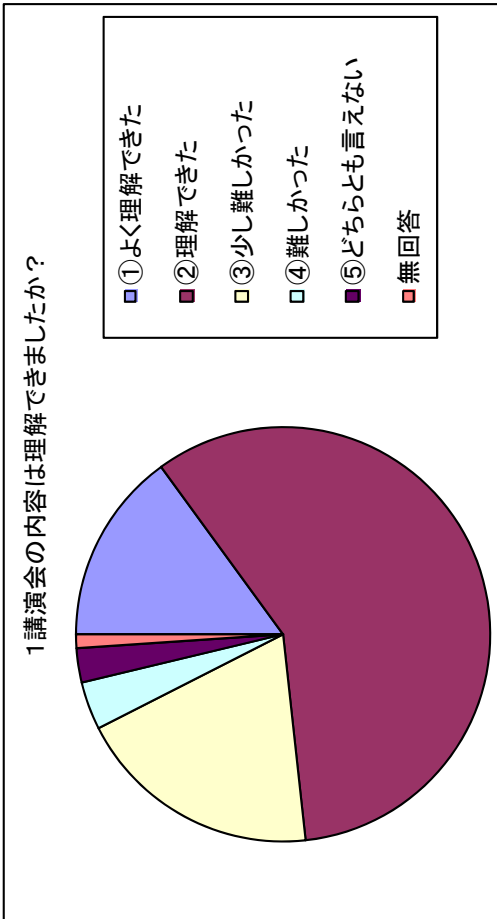
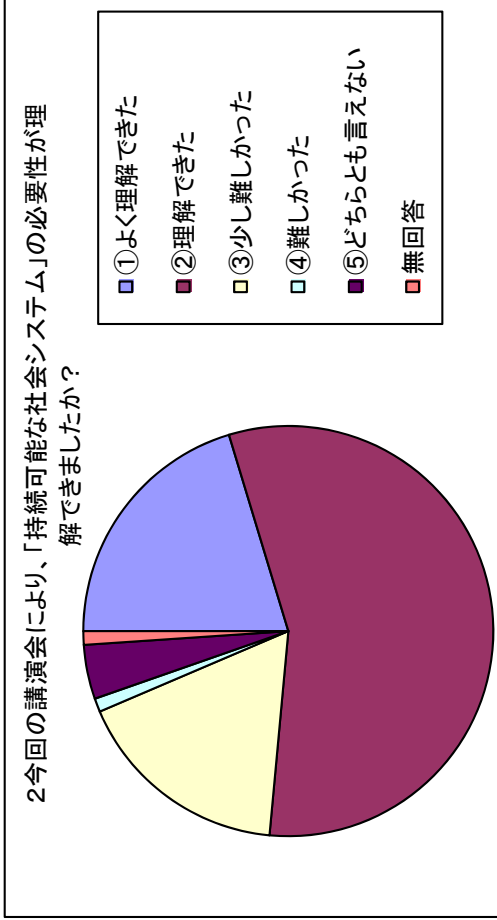
2) 総合工学実験実習Ⅳの報告(土井准教授)

昨年度までは、6テーマの工学実験を6週間で実施していたため、プロジェクト活動の開始が、前期は中間試験明け頃から実働を始めていました。この点について、学生授業アンケート等で、改善要求がでておりました。それを受け、平成23年度は、年度当初からプロジェクト結成のための活動を行っています。その甲斐があり、4月21日(木)の時点で、学年代表として笠間君(5E)、学年副代表として阿部君(5M)・望月君(5M)、コース代表として川田君(5M)・後藤君(5S)・山中君(5H)・川崎君(5E)・朴木君(5A)・石井君(5C)が決まりました。その次週にあたる4月28日(木)には、学年代表の笠間君が司会をつとめ、プロジェクト結成方法を協議し、まず、プロジェクトリーダーの立候補を募り、そのリーダーがつくりたい卒業製作物を宣言しました。そのような経緯で、5月11日の時点で、以下のようにプロジェクトリーダーとテーマ案が提示されています。5月12日(木)の時間中に本年度のプロジェクトが結成される予定です。

なお、現状で、5年生には学籍番号で個人メールが届くように設定が完了しています。また、5月19日以降の実験では、ネットワーク接続された電子黒板が使えるように準備をしております。総合工学実験実習に限らず、電子黒板等の共有設備(トランシーバ、ハンドマイク、小型テント、デジカメ、ハンディカム、電工ドラム、テーブルタップなど、詳しくは技術教育支援室にお問い合わせください)の活用をよろしく願いいたします。

平成23年度 卒業製作 プロジェクトリーダーとテーマ案の一覧(12テーマ)

S	小松 英孝	遊具	C	前田 耕平	圧電素子
C	溝口 拓志	太陽光	H	武田 篤	何でも(ソーラー)
A	岡井 亮	バイオ	E	松島 敬佑	圧電素子
M	戎 幸太郎	蒸気機関	C	松下 信大	野菜作り
M	川田 晃	EV	C	久多里 仁禮	壁面緑化
A	桶谷 龍成	EV	E	田村 直輝	圧電+α



第1回教育GP「ものづくりの現場を聴く」講演会アンケート結果